

プレスリリース

報道各位

コメ先物取引試験上場再々延長に係る認可を受けて

このたび、本所が試験上場の再々延長の認可を受け、市場の継続をはかることができましたのも、これまでに取引に参加された皆様、また、先物市場における適正な取引や、市場の継続に向けて御協力いただいた関係者の皆様の御指導、御協力の賜であり、まずは、この場をお借り致しまして、厚く御礼申し上げます。

さて、コメの先物取引につきましては、平成29年8月7日に6年間の試験上場期間が経過することから、7月11日、農林水産省に本上場に移行することを内容とする定款変更の申請を行いました。その後、与党におかれまして、米の先物取引については、生産者の取引参加は増加が見られるものの依然として極めて少なく、その参加動向等市場の状況を更に見極める必要があることに加え、平成30年産米の生産及び流通の動向を見定めることが必要な状況にあることなどから、本上場は認め難い旨、農林水産省に申入れをされました。本所では、こうした状況を踏まえまして、市場の継続に重きをおく観点から、8月4日に先の申請を取り下げるとともに改めて試験上場を再度2年間延長することを内容とする定款変更の申請を行い、8月7日、農林水産省から、本申請を認可する旨の通知を受けたところです。

本上場から試験上場に申請の変更をせざるを得なくなったことにつきましては誠に残念ではございますが、2年前の与党から農林水産省への申入れにおきましては、事実上、本上場できなければ廃止を求める内容であった事実を踏まえまして、今回の申入れでは、試験上場の延長の形とはいえ、市場継続を容認する等、一定の評価をいただいたものと認識しているところであります。

本所としましては、2年後の本上場の実現のために、生産者や集荷業者をはじめとする幅広い方々に更なるご参加をいただけるよう引き続き努め、その上で、適切な市場管理のもとで、より利用しやすく、安心できる市場の運営を継続して参る所存でございます。

なお、本上場申請に向けてのご提言をとりまとめていただきましたコメ試験上場検証特別委員会をはじめ、ご支援ご協力をいただいております関係者の皆様には、ご心配をおかけしているところですが、何卒、本上場に向けた再スタートにご理解を賜りますようお願いいたしますとともに、引き続き、ご指導、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

平成29年8月8日
大阪堂島商品取引所
理事長 岡本安明